

HANDBALL

Hiroshima News 2016.5

春の全国中学生選手権初優勝

甲田中男子

感動再び

盛大に制覇報告会・祝賀会

春の全国中学生選手権（3月26日から4日間・富山県氷見市ふれあいセンターほか）で初優勝した甲田中男子の「全国制覇報告会・祝賀会」（安芸高田市教委、安芸高田市ハンドボール協会主催）が4月15日に安芸高田市の甲田文化センターミュージズで開かれた。

激闘を制した姉ヶ山京主将ら選手12人、竹本秀樹監督が壇上に並び改めて晴れやかな笑顔を見せ、150人余の関係者やファンから大きな拍手が湧きあがり、中学生では県内初の全国制覇の偉業をたたえた。



山陽 初の男女優勝



男子 2位向原 3位修道 女子 2位桜が丘 3位三津田

県高校選手権は第67回中国高校選手権県予選を兼ねて4月9、10の両日、呉オークアリーナで開かれ、山陽が初めての男女優勝を飾った。男子は初、女子は3年連続3度目の優勝。男女とも3位までが5月14日からジブアアリーナ岡山で行われる中国大会に出場する。

男子の決勝は最後まで予断の許さない展開が続いた。前半は山陽が一時4点差をつけリードしたが、向原は6点連取で逆転した。後半も息詰まる戦いの中、向原が終盤までリードしたが、山陽は残り4分を切って追いつき、1分後に決勝点となる劇的なシュートをたたき込んで決着をつけた。女子は地力にまさる山陽がいずれも大差で3連覇を飾った。

県高校選手権
兼中国高校選手権予選

【男子】
▽1回戦
如水館 16 (9 - 6, 7 - 7) 13 廿日市
三津田 21 (11 - 5, 10 - 6) 11 西条農
呉 工 27 (13 - 4, 14 - 7) 11 賀 茂
広 39 (25 - 2, 14 - 4) 6 城 北
祇園北 41 (22 - 5, 19 - 5) 10 宮島工
▽準々決勝
向 原 34 (16 - 8, 18 - 9) 17 如水館
呉 工 24 (14 - 9, 10 - 11) 20 三津田
修 道 26 (10 - 13, 16 - 8) 18 広
山 陽 28 (18 - 6, 10 - 9) 15 祇園北
▽準決勝
向 原 33 (17 - 8, 16 - 14) 22 呉 工
山 陽 22 (10 - 5, 12 - 10) 15 修 道
▽3位決定戦
修 道 25 (16 - 9, 9 - 5) 14 呉 工
▽決勝
山 陽 21 (9 - 10, 12 - 10) 20 向 原
【女子】
▽1回戦
賀 茂 14 (6 - 3, 8 - 6) 9 清水ヶ丘
三津田 22 (10 - 3, 12 - 8) 11 祇園北
▽準決勝
山 陽 37 (17 - 3, 20 - 2) 5 賀 茂
桜が丘 38 (22 - 7, 16 - 10) 17 三津田
▽3位決定戦
三津田 10 (5 - 5, 5 - 1) 6 賀 茂
▽決勝
山 陽 33 (19 - 6, 14 - 7) 13 桜が丘

【男子】
▽1回戦
廿日市 23 (14 - 8, 9 - 10) 18 城 北
▽準々決勝
向 原 38 (21 - 4, 17 - 5) 9 廿日市
祇園北 30 (12 - 5, 18 - 4) 9 宮島工
修 道 31 (14 - 5, 17 - 1) 6 賀 茂
山 陽 19 (12 - 5, 7 - 7) 12 西条農
▽準決勝
向 原 32 (16 - 10, 16 - 11) 21 祇園北
修 道 18 (8 - 8, 10 - 6) 14 山 陽
▽3位決定戦
山 陽 26 (11 - 7, 15 - 10) 17 祇園北
▽決勝
向 原 30 (12 - 11, 18 - 11) 22 修 道
【女子】
▽1回戦
桜が丘 (不戦勝) 向 原
▽準決勝
山 陽 29 (17 - 7, 12 - 8) 15 桜が丘
祇園北 12 (2 - 6, 10 - 5) 11 賀 茂
▽3位決定戦
桜が丘 26 (12 - 6, 14 - 2) 8 賀 茂
▽決勝
山 陽 39 (21 - 3, 18 - 4) 7 祇園北

広島地区高校春季大会
(4月16、17日・向原高体育館)

◆女子決勝メンバー◆	◆男子決勝メンバー◆
山陽 得	《桜が丘》 得
網本 優菜② 1	井上 千夏③ 1
三宅 葉月③ 6	矢野 未晏③ 0
塩田 奈々③ 7	福田 優月② 0
平川 結衣③ 10	井出吉 茜② 1
吉政 真来③ 1	堀越 聖菜① 3
木村 凜③ 0	岡部絵留菜① 6
角森 彩② 0	重本 悠花② 1
川口 華衣② 5	村末 梨沙① 2
山本 遙香② 0	
島 遥奈① 3	
塩田 成未① 0	
大段 真央① 1	(注) ○数字は学年
土居 侑加① 0	
風呂内 萌々① 1	
深田 茉優② 1	
	《向原》 得
	狩山 拓磨③ 1
	板村 誠③ 4
	塩崎 竜也③ 1
	岡部 光樹③ 5
	中山 史椰② 9
	政岡 凪② 1
	山根 将平② 0
	北高 亮② 0
	岩田 佳樹② 0
	マルチネス・ジオゴ ② 1
	(注) ○数字は学年
	《山陽》 得
	広上 永遠① 1
	山下 由聖① 0
	久村 孝太② 1
	山下 凌矢② 6
	塚田 隼丞② 2
	川手 悠大③ 5
	福原 隼佑② 3
	村上 禎幸③ 0
	岡野 陽介② 0
	今田 悠① 0
	駒井 翔太② 0
	日垣 翔太② 0
	立石 将牙③ 2
	塩田英太郎① 2

2016年度スケジュール

(実施分は除く)

県内大会

- ◆5月◆
 - ・近県小学生交流大会 5日 呉オークアリーナ
 - ・県小学生大会兼全国小学生大会県予選 23日 中区SC
- ◆6月◆
 - ・県高校総体 4.5日 広経大石田記念体育館
 - ・安芸高田市カップ 12、13日 湧永満之記念体育館ほか
 - ・国体県予選 18日 日新製鋼体育館
 - ・県小学生リーグ 25日 呉市体育館
- ◆7月◆
 - ・県中学校選手権兼中国中学校選手権県予選 16、17日 呉オークアリーナ
- ◆8月◆
 - ・県高校ジュニア大会 27、28日 呉工高G
- ◆9月◆
 - ・県中学校総体 24、25日 日新製鋼体育館
 - ・県小学生リーグ 未定
- ◆10月◆
 - ・県秋季一般選手権兼中国一般選手権 兼日本選手権県大会 15、16日 日新製鋼体育館ほか
- ◆11月◆
 - ・県高校新人大会 12、13日 呉オークアリーナ
- ◆12月◆
 - ・全国高校選抜大会県予選 24、25日 呉オークアリーナ
- ※2017年
- ◆1月◆
 - ・春の全国中学生大会県予選 8、9日 呉オークアリーナ
- ◆2月◆
 - 県室内総合選手権 25、26日 広経大石田記念体育館

中国地区大会

- ◆5月◆
 - ・中国高校選手権 14、15日 ジップアリーナ岡山
 - ・ジャパンオープントーナメント 兼全国クラブ選手権西地区大会中国予選 21、22日 呉市体育館ほか
- ◆7月◆
 - ・中国地区高専大会 2、3日 呉市体育館
- ◆8月◆
 - ・中国中学校選手権 6、7日 呉オークアリーナ
- ・国体中国予選 19~21日 きびじアリーナほか
- ・JOCジュニアオリンピック大会中国予選 27、28日 岡山市総合文化体育館
- ・中四国学生秋季リーグ 30日~9月4日 高知県民体育館
- ◆9月◆
 - ・中国高校交流大会 17、18日 広経大石田記念体育館
- ◆10月◆
 - ・中国ブロック小学生交流大会 22、23日 広経大石田記念体育館
- ◆11月◆
 - ・中国一般戦油研兼日本選手権中国大会 26、27日 境港市民第2体育館ほか
- ※2017年
- ◆2月◆
 - ・全国高校選抜大会中国予選 兼中国地区高校新人大会 4、5日 札幌パレッツ 周南総合SCほか

「熊本地震」 広がる支援



湧永・メイプル選手ら募金呼びかけ

4月14日に発生した「平成28年熊本地震」は熊本、大分を中心に大きなつめ跡を残し、余震も続いているが、復興、復旧活動も懸命に続けられている。スポーツ界でも多くの競技団体、各チームや選手らが救援に駆けつけたり、義捐金活動をするなど支援の輪が全国に広がっている。

日本ハンドボール協会も募金を募っているが、4月30日には広島で活動する日本リーグ加盟の湧永製薬と広島メイプルレッズの選手らがファン感謝デーに合わせて会場のマエダハウジング東区スポーツセンターでファンやサポーターらに募金を呼びかけた。アリーナ中央に湧永製薬の湧永寛仁オーナー、県協会の山本一副会長、両チームの選手が募金箱を手に並び「熊本地震の支援に協力してください」。閉会式後には多くの子どもたちや保護者らが次々と募金箱に義捐金を入れていた。

湧永製薬の今井選手、GK志水選手の現役のほか、OBにも九州出身者がおり、1日も早い復興を願っていた。



ハンドの楽しさ 満喫

湧永・メイプル ファン感謝デー

2015年シーズンを終えた男子の湧永製薬、女子の広島メイプルレッズは4月30日、マエダハウジング東区スポーツセンターで合同のファン感謝デーを開いた。

午前は両チームの選手らの指導によるハンドボール体験教室、午後からは湧永製薬の湧永寛仁オーナー（県協会会長）のあいさつに続き両チーム選手紹介のあと、中学生との試合が組まれた。

先の全国中学生選手権で県勢として初優勝の偉業を達成した甲田中男子のメンバーが紹介され、県協会から記念品の目録、湧永製薬から選手サイン入りのゴールデンボールが贈られた。

会場内は1日中、歓声に包まれなごやかな雰囲気。参加した小中学生らはあこがれの選手と一緒にプレーしたり、指導を受けたり、ハンドボールの楽しさ、素晴らしさを満喫していた。

5回目を迎えたJHLジュニアリーグ決勝は日本リーグプレーオフ最終日の3月27日、東京・駒沢体育館で行われ、男女とも西地区1位の琉球コラソジュニアが大同フェニックス東海を大差で退け、優勝した。

男子の優勝は2年ぶり3度目、女子は2年連続3度目。
▽男子 琉球28-12大同
▽女子 琉球18-6大同

JHL Jrリーグ
琉球強い

湧永、桑野・シグフソン退部

湧永製薬はファン感謝デーの会場で昨シーズン限りで退部する2選手を明らかにした。2人は2013年から3年間に在籍した桑野弘規選手とアイスランド出身で14年に加入したシグフソン選手。4月から祇園北高で教職についている坂本伸博さんと合わせ退部は3人となる。

一連のイベントの最後に3人が紹介され、これまでの活躍をたたえ花束が贈られ、大きな拍手が沸き起こった。

大崎・北國とも3位

東アジアクラブ選手権

日本、韓国、中国の3カ国が覇を競う東アジアクラブ選手権は4月16日から韓国・ソウルのSKアリーナで開かれ、JHL優勝の男子・大崎電気は1勝2敗、女子・北國銀行は1勝1分け1敗でともに3位となった。

優勝は男子が斗山、女子がソウル市庁といずれも韓国勢だった。

大会は日本の2チームのほか、元元の韓国から男子が斗山と陸軍、女子がソウル市庁と仁川市庁、中国は男女とも江蘇が出場し、1回戦総当たりで行われた。